

市民意識調査 速報 結果の お知らせ

■市民意識調査の概要■

- 【調査対象】 18歳以上の米原市民
3,000人（無作為抽出）
- 【調査方法】 郵送による配布・回収
- 【調査期間】 平成24年6月28日～
7月20日
- 【回収率】 40.9%

調査結果がまとまりました

市では、市民のみなさんの市政に対する評価やこれからのまちづくりに対するニーズを統計的に把握し、今後の市政運営に生かすため、平成20年度から「市民意識調査」を実施しています。

6月に実施した本年度の調査結果がまとまりましたので、その一部を公表します。詳細は、市政情報プラザや公式ウェブサイトをご覧ください。

満足度を高めるために取り組みます

7ページの設問にあるように、これまでの市の取り組みに対する現状の評価（満足度）と、今後取り組むことについての重要度を5段階評価で聞いたところ、上位5項目および年代別の傾向は、それぞれ下記のようになりました。

市では、昨年度に策定した総合計画基本計画の中で、施策の取り組みの成果を図る指標として、市民意識調査の満足度を設定しています。

計画期間の平成28年度までに、それぞれの満足度を高めていくことができるように取り組んでいきます。

お問い合わせ

政策調整課（米原庁舎）

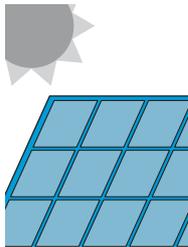
☎521-6626 ☎521-5195

現状の評価

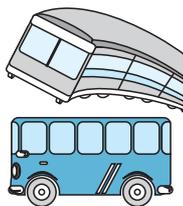
満足度の低い取り組み 5項目

「不満」「どちらかといえば不満」の回答を合わせた中で、最も満足度の低い取り組みは「新エネルギーの導入」でした。今回の調査結果の傾向からは、新エネルギーや交通などの都市基盤の整備にさらに力を入れていくことが求められています。

新エネルギーの導入



公共交通の充実



行財政改革の推進



広域交流機能の整備



地域産業の振興



今後取り組むことについて

重要度の高い取り組み 5項目

「重要」「どちらかといえば重要」の回答を合わせた中で、最も重要度の高い取り組みは昨年度の調査に引き続き、「高齢者・障がい者福祉の充実」でした。今回の調査結果の傾向からは、福祉、教育分野のほか災害に強く、安心・安全なまちづくりの取り組みを継続して進めていくことが求められています。

高齢者・障がい者福祉の充実



災害に強いまちづくりの推進



教育内容・施設の充実



安心・安全に暮らせるまちづくりの推進



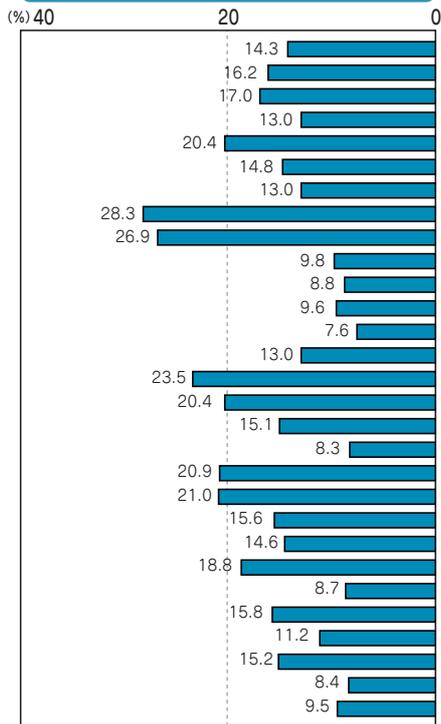
医療体制の充実



「市民意識調査」の質問内容 — 現状の評価と重要度 —

問 あなたは、次のそれぞれの項目について、現状をどのように評価し、今後取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。あなたのお考えに一番近い番号を5段階評価してください。

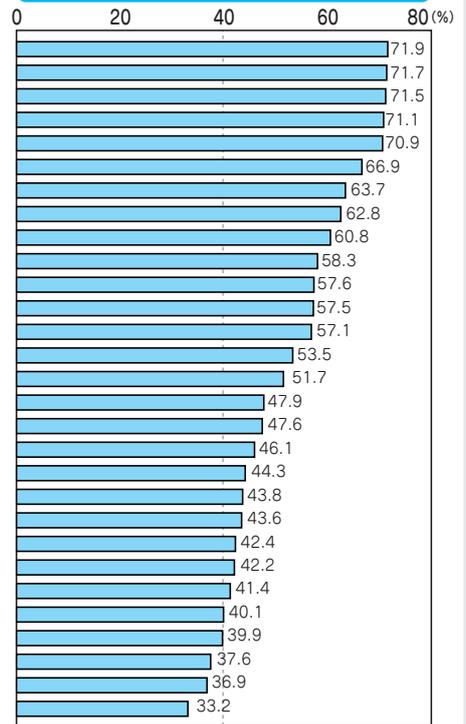
不満度(不満+どちらかといえば不満)



市が取り組む施策

1. 高齢者・障がい者福祉の充実
2. 災害に強いまちづくりの推進
3. 教育内容、施設の充実
4. 安心・安全に暮らせるまちづくりの推進
5. 地域の医療体制の充実
6. 子育て・子育て支援の充実
7. 生活環境の保全
8. 新エネルギーの導入
9. 公共交通の充実
10. 自然環境の保全
11. 循環型社会の構築
12. 地域福祉の推進
13. 健康づくりの推進
14. 情報通信網の整備・活用
15. 行財政改革の推進
16. 道路網の整備
17. やすらぎ環境の整備
18. 歴史・文化遺産の継承と活用
19. 地域産業(農林水産業、商工業等)の振興
20. 広域的な交流機能の整備
21. 快適な住環境の整備
22. 水源の里まじらへの移住・定住の促進
23. 観光・イベントの振興
24. 生涯学習の推進
25. 市民と行政との協働のまちづくりの推進
26. 文化・スポーツの推進
27. 市民との情報共有の推進
28. 男女共同参画社会の実現
29. 人権の尊重

重要度(重要+どちらかといえば重要)



年代別にみた 現状の評価と重要度

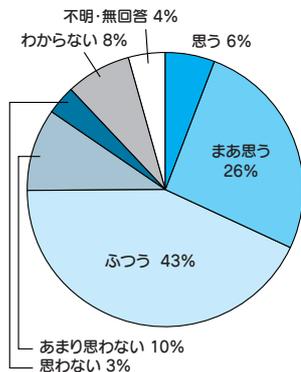
10歳代から40歳代では、教育や子育て・子育て支援の充実に対する重要度が高く、60歳代以上では、高齢者・障がい者福祉の充実に対する重要度が高くなっています。
また、10歳代と75歳以上で公共交通の充実に対する満足度が低くなっており、特に学生や高齢者に対する公共交通の充実が求められています。中間の年代では、新エネルギーの導入に対する満足度が低くなっており、エネルギー政策への問題意識が高まってきていると考えられます。

現状の評価 (満足度の低い取り組み)	年代	今後取り組むことについて 重要度の高い取り組み
・公共交通の充実 (36.4%) ・水源の里まじらへの移住・定住の促進 (36.4%)	18~19歳	・教育内容、施設の充実 (81.8%) ・子育て・子育て支援の充実 (81.8%) ・生活環境の保全 (81.8%)
・道路網の整備 (25.0%)	20~29歳	・教育内容、施設の充実 (78.6%)
・新エネルギーの導入 (30.8%)	30~39歳	・子育て・子育て支援の充実 (86.6%)
・公共交通の充実 (34.2%)	40~49歳	・教育内容、施設の充実 (79.9%)
・新エネルギーの導入 (34.1%)	50~59歳	・教育内容、施設の充実 (72.3%) ・地域の医療体制の充実 (72.3%)
・新エネルギーの導入 (34.1%)	60~64歳	・地域の医療体制の充実 (78.5%) ・高齢者・障がい者福祉の充実 (78.5%)
・行財政改革の推進 (32.8%)	65~69歳	・災害に強いまちづくりの推進 (72.8%)
・地域産業の振興 (25.0%)	70~74歳	・高齢者・障がい者福祉の充実 (76.5%)
・公共交通の充実 (29.1%)	75~79歳	・安心・安全に暮らせるまちづくりの推進 (70.9%)
・公共交通の充実 (19.4%)	80歳以上	・高齢者・障がい者福祉の充実 (68.5%)



子育てに注目!

問 あなたは米原市を子育てしやすいまちだと思いますか。



「思う」「まあ思う」「ふつう」を合わせると75%となり、おおむね満足をいただいています。「子ども条例」の制定や子育て支援サービスの充実を図り、さらに子育てしやすいまちづくりを進めていきます。